

News Release

物流MaaSの実現に向けた研究開発・実証事業 (見える化・自動荷役等による輸配送効率化) の公募 ～データの連携×物流機能の自動化で最適物流の実現を目指す～

ID&Eホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦）は、経済産業省の2024年度「無人自動運転等のCASE^{※1}対応に向けた実証・支援事業（無人自動運転等の先進MaaS実装加速化のための総合的な調査検討・調整プロジェクト）」（以下、「本事業」と呼称）を受託しました。受託に伴いまして、2024年度の本事業テーマの一つである「物流MaaSの実現に向けた研究開発・実証事業（見える化・自動荷役等による輸配送効率化）」（以下、「物流MaaSプロジェクト」と呼称）を行う事業者を募集します。

※1 クルマをIoT（あらゆるモノがインターネットにつながる仕組み）端末と位置づけてデジタル化・電動化を推進し、自動車産業を製造業からモビリティ（移動）産業へ変革させる動きの総称（C=Connected、A=Autonomous、S=Shared & Service、E=Electric）。

1. 物流MaaSプロジェクトについて

日本国内の運輸部門においてCO₂排出量の約4割を占める貨物自動車分野では、カーボンニュートラル、慢性的な需要過多・人手不足、デジタル化、CASE等の環境の変化が厳しさを増す中で、新たな技術も活用しながら、様々な課題へ対応することが求められています。

そうした状況を踏まえ、経済産業省において、荷主・運送事業者・車両の物流・商流のデータ連携と、物流機能の自動化により最適物流を実現し、社会課題解決や物流の付加価値向上を目指していく「物流MaaS」の実現像が2020年4月にとりまとめられました。また、この「物流MaaS」の実現像の達成に向けて、2020年度より「①トラックデータ連携の仕組みの確立」「②見える化・自動荷役等による輸配送効率化」「③電動商用車活用・エネルギーマネジメントに係る検証^{※2}」の3つのテーマで、実証事業等の取組を推進してきたところです。

日本工営株式会社では、事業プロモーターの役割を担い、実証事業の公募・選定を行うとともに、プロジェクトの実施に係る支援を行い、自動荷役や共同輸送の実装および横展開に向けた課題を検証していきます。

※2 ③電動商用車活用・エネルギーマネジメントに係る検証については、2021年度末にて事業終了。

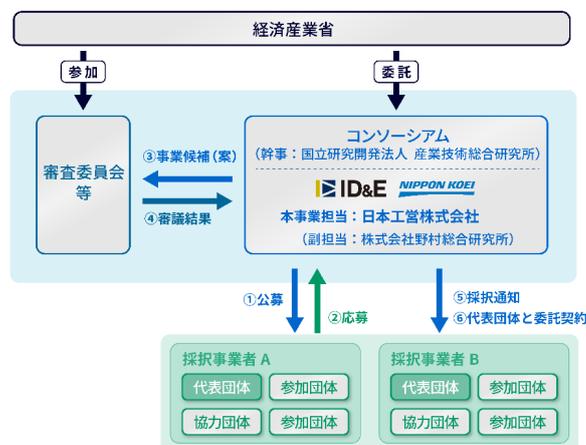


図 物流MaaSプロジェクトの実施・審査体制

2. 公募について

(1) 実証事業の概要

架装・積荷情報の取得方法の確立やパレットレベルの自動荷役、連結トラックの実装に向けた課題を踏まえ、自動荷役や共同輸送の実装を目指し、自動荷役の技術実証範囲の拡大、データ連携の実現に向けた必要情報の整理および連携基盤の構築を実施していきます。

<想定される実施内容>

● 自動荷役：

- トラックへの自動荷役に向けた技術実証（異形パレット段積み、複数車種対応に資するAGF・AMR^{※3}の精度向上、リーチフォーク導入、荷姿のパターン化等）
- 発荷主のオーダーと着地荷役作業との関連の検証および発荷主と着荷主間で連携を強化し効率的に着地荷役作業を行うための仕組みづくりの検討
- 自動運転実現下における自動荷役・人機協調荷役の実現に向けたデータ連携に資するデータ項目や連携方法等の定義
- WMSやWCS^{※4}の連携による自動荷役機器の結節点内での活用範囲の拡大

※3 AGFは自動運転フォークリフト（Automated Guided Forklift）、AMRは自律走行搬送ロボット（Autonomous Mobile Robot）。

※4 WMSは倉庫管理システム（Warehouse Management System）、WCSは倉庫制御システム（Warehouse Control System）。

● 共同輸送：

- 共同輸送の参画荷主や実装箇所の拡大
- 共同輸送の横展開に向けた与条件や検討プロセス、導入ポイント、データ連携に資するデータ項目や連携方法等の定義
- 共同輸送の実現に向けた処理情報や調整事項の増大に伴い改良した情報システムの要件定義・基本設計書の作成

(2) 公募案内

詳細は、以下の特設サイトからご確認ください。事業者の公募、公募要領・公募書類、公募の受付期間等について掲載しています。

また、公募書類の様式は、以下の特設サイトの【公募要領・公募書類】からダウンロードできますので、公募要領をご確認の上、ご利用ください。

▼物流MaaSの実現に向けた研究開発・実証事業（令和6年度）特設サイト

<http://maas-logistics-koubo2024.jp>

▼2020年4月にとりまとめた物流MaaSの実現像やこれまでの物流MaaS推進検討会における議論内容

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/automated-driving.html

▼お問い合わせ先

公募に関するお問い合わせ

日本工営株式会社 交通政策事業部交通都市部

E-mail: ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ

ID&Eホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

Tel: 03-5276-2454 E-mail: c-com@n-koei.co.jp